

よくわかるガスエネルギー業界感想

恒見油化 直営所長クラス

東日本大震災以降日本の一次エネルギー輸入の構成が大きく変化しました。その理由は原子力発電から火力発電への再シフトのための天然ガスの輸入量が増大したためだと思います。そしてその天然ガスの輸入のむずかしさ（LNGへの変換）またタンカーでの輸入のコスト高及び特定基地への搬入しかできないことなど天然ガスの輸入のむずかしさが、よく理解できたこと。そして東京ガスより東京電力がLNGの輸入量が多いことが衝撃でした。

更に天然ガスの備蓄義務がなぜないのか。その理由は以前日本では石油の輸入があれば何とかになっていた。それは国家のエネルギー備蓄問題が近年、更新されていない、しかも時代の変化に対策がついていってない気がします。

たしかに天然ガスをLNG化して長期備蓄するとなるとコスト面で生じる問題はあるでしょうが、近年の状況をみるとそうとも言えない気がします。

我が国は一次エネルギーの大半を輸入に頼っているからこそ政府には、国家エネルギー戦略を10年～20年先を見越して考えてもらいたいと思います。

水素社会ではFCV及び水素スタンドが、これからの日本のエネルギーのあり方を大きく変えていけると感じました。またFCVについてはトヨタ委員の発言で本気度がわかり、技術国日本の中のさすがトヨタだと感心しました。

我々SS業界もトヨタさんの同様本気でSS＝水素スタンドへの問題に感心を持ち実行することで日本のエネルギー問題に大きく貢献できるものだと思います。

SS業界が誰も儲からないと言う事の無いようにしていかななくてはならないと思います。

原子力発電は日本の電力供給には不可欠かもしれませんが核廃棄物がこれ以上世界に増えるのはリサイクル管理が完全に解決して安全に稼働ができない以上、停止していくしかないと考えます。福島原発の負の遺産はいまだ増え続け、誰がどのようにして解決するのかもわからない状態が続いていると思います。

我々は業界の垣根を越えて日本のエネルギーの事、世界のエネルギーの事を、子供たちのために次世代により良い方法で伝えていかなければならないと思いました。

最後に、私たちの商品として扱っている石油製品は地球の大切な資源ということを忘れず、これからも扱っていきたいと思います。
